

目片 康人

5期生

高校を卒業して30年、最近日常会話の話題が、子どもの成長から自分の健康に移りつつある50歳目前の5期生です。

在学当時、授業中は愛溢れる指導(常時後頭部に刺激を受ける授業)を受け、辞書にも色々な活用方法があることを身を以て知り得たことを懐かしく思い出します。

そんな私も20数年高校教員として教壇に立ち、生徒たちから数多くのPowerと影響を授かってきました。

文化部出身の私が教員になつてから指導を始めた部活

動指導では「冷静に我慢する」この言葉を繰り返して伝えていきます。チャンスが来るまでじっくりと待ち、好機を確実に自分達のものにできる、その様な選手に育ってもらいたいと常に心がけています。

近年選手は頭張り以上に、保護者・地域の方々の協力もいただき、県代表チームとして出場する機会を得るようになりましたが、未だ全国での勝利の喜びを得るに至っておりません。今度こそはと願い、今年の長野インターハイを迎えることになりました。

これからの自分の体と



現在 草津東高校で教鞭を執っておられます。卓球の顧問としても活躍しておられ、草津市卓球協会理事長に就任されています。

14期生

小関 隆嗣

みなさんこんにちは。私の高校時代といえば、とにかく部活動が中心

でした。今振り返ってみても、思い出すのは部活動のことばかりです。甲子園という目標に向かって努力をしてきたつもりでしたが、今から考えるとまだまだ甘かったなあと思っております。選手として達成できなかった目標を今度は指導者として、と考え教職の道に進みました。現在は水口高校に勤務し、野球部の監督をさせてもらっています。

昨秋は県大会で準優勝をし、前身である甲賀高校以来、44年ぶりに近畿大会に出場させていただきました。初戦の和歌山県一位校との対戦で勝利し、あと一回勝てばほぼ選抜間違いなしというところまでは行けたのですが、大阪代表に大敗を喫しました。全国のレベルを肌で感じたと共に、あの緊張感の中で野球が出来た経験は私にとっても大きな財産となりました。

今春の大会はベスト8止まりでしたが、まもなく夏の大会が始まります。飛び抜けた選手のないチームにとってこ



れから必要になってくるのは「人間力」と「チーム力」です。大きな舞台で、大事な場面で、自分の培った技術を発揮するために「人間力」と「チーム力」に磨きをかけ、今夏こそ滋賀県の頂点に立ちます。そしていつの日か、母校である東大津高校で野球の指導に携われたら幸せだなと思っております。

9期生

古賀 麻子

皆様いかがお過ごしでしょうか？

私が東大津高校を卒業して早や二十五年以上経ちました。去年、長男が母校に入学し、改めて親として足を踏み入れることとなりました。



しかし、突如現れた見慣れない建物(新校舎・セミナーハウスなど)、扉付きの下駄箱、息子の友達と保護者の方にも頼りにされているながら校舎内で迷ってしまったこともあり、四半世紀の時の流れをはっきり実感させられました。唯一、時の流れを感じさせないところといえば、勉強が大変というところでしょうか。

長男の入学によってあまり思い出すことのなかった高校生活を改めて振り返ることが多くなりました。子供が話してくれる学校の様子を聞きながら、自分と重ね合わせたりするのですが、実際は

覚えていないことのほうが多いです。頼りないですが、子供が楽しい高校生活を送れるようサポートしていければと思っています。

現在も年に一回くらいなのですが、部活動で一緒だった友達と集まったり、近所に住んでいる同級生とばったり会って、長時間立ち話をしたりすることがあります。たった三年間しか一緒にいなかったのに、二十五年以上経つても時間を忘れて話ができるというのはすばらしいことだなと思います。子供たちにも卒業後、このような交流をもってもらいたいと願っております。

17期生

近藤 貴代

『競技生活を振り返り...』

OB・OGの皆様、いかがお過ごしでしょうか。17期生の近藤貴代です。今夏のロンドンオリンピックに向け、スポーツ界も大いに盛り上がってきましたね。どんな素晴らしい五輪オリンピックになるのか、とても楽しみにしています。

さて私事ですが、昨年、選手生活を終えました。中学時から陸上競技を始め途中で種目変更はしましたが、24年の間、陸上競技に取り組んできました。今、競技生活を振り返ると、オリンピックに出場できたことは競技者として本当に良かった

と思います。あのスタジアム内の雰囲気は独特なものでした。観客席はお祭り騒ぎですが、フィールド内では一番綺麗な色のメダルを目指し、選手は最高の集中をして挑んでいました。今、思い出しても感動で鳥肌が立つほどです。また、子供の頃からの夢であるオリンピック出場を実現できたことは、生きる上での大きな自信と誇りになりました。不器用な私でしたが「棒高跳」として素晴らしいコーチ・トレーナー、所属先などの出会いがあり、人生が大きく変わりました。多くの出会いにとっても感謝しています。

今年の4月からは、彦根市の近江高校で保健体育教諭



として働いています。初年度からクラス担任を持たせて頂き、担任業務の大変さを日々感じています。しかし、生徒との毎日の何気ない会話が楽しく、まだ2ヶ月ですが、担任を持つてとても良かったと思っております。これからは生徒との出会いを大切に、競技を通じて学んだ多くのことを伝えていければと思っています。今後は、東大津高校はもとより近江高校でもご声援頂けると幸いです。宜しくお願い致します！